

SCOUTING ibaraki

スカウティング茨城

Vol.33/Apr.2010



17th IBARAKI CAMPOREE



We are the Champion!
2009 in KITAURA

特集

第17回 茨城県キャンポリー

Let's Go! /

We are the Champion!

班のカラーを發揮して、得意分野で目指そうチャンピオン!

キャンポリーは4年に1回開催されるボーイスカウトの県大会です。ここでスカウトたちは、キャンプ生活をしながら多くのプログラムにチャレンジして、友情を育んでいきます。また、それまでの活動で培ってきたたくさんの成果を披露し、互いに刺激し合い、高め合っていきます。そして、それを自分の成長へと繋げていくのです。





17th IBARAKI CAMPREEE

とびっきり豊かな 夏の4日間!!

8月7日から4日間、行方市北部の北浦複合団地に県内各地から800人のスカウトと指導者が集まって、第17回茨城県キャンポリーが開催されました。

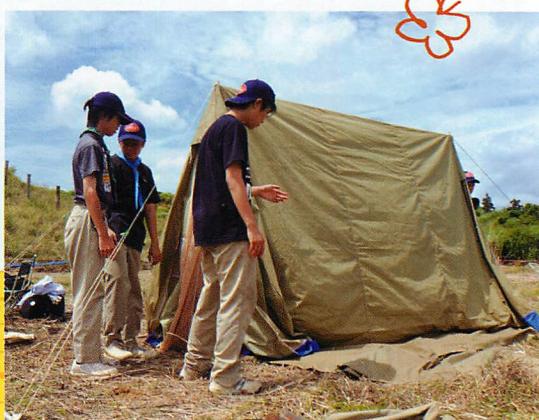
このキャンポリーは、小学6年生から中学3年生までの男女ボイスカウトが自分たちで住み家であるテントを建て、料理のためのカマドを作り食事を作り、彼らの感性を刺激する多くのプログラムに挑戦し、ステージでパフォーマンスを披露する3泊4日の一大イベントです。



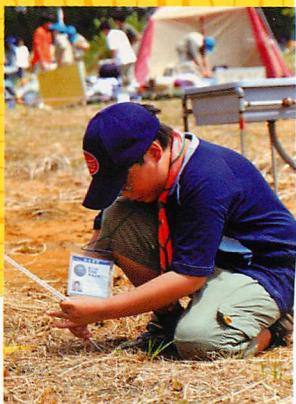
みんなでテント張り

スカウトはすべてを自分で行うんだ。

たったの4日だけど、きちんとテントを張って、快適な「家」を作る。だからボクたちは「テントを建てる」って言うんだ。昔ながらの家型テントは居住性は抜群だけど、建てるのが難しい。だけど、いつも簡単に建ててしまうのがボイスカウト。それは日頃の訓練の賜だ。



役割を分担して建てる。
そして先輩から後輩に伝える。



ペグの角度・位置を見極める。
それは日頃の訓練で培ったものだ。



「チャレンジ プログラム」

チームワークでめざせチャンピオン

このキャンポリーのテーマは「We are the Champion! ~班のカラーを発揮して、得意分野で目指そうチャンピオン!~」だ。班ごとにプログラムに挑戦して、日々のチャンピオンを目指す。“競い合い”によって、自分も相手も互いに高め合う。それがボーイスカウトのやり方だ。

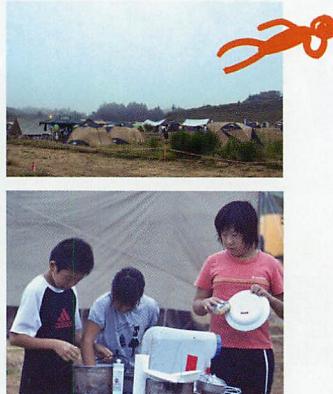




17th IBARAKI CAMPOREE



朝日とともに朝ごはん



「一番の早起きは炊事当番」

今日も楽しいプログラムが待っている。
その活動エネルギーは朝ご飯にかかっている。美味しいご飯を作るからね。



ごはんはマキで炊く

「火おこしは腕のみせどころ」

スカウトはマキで炊事をするのが基本だ。
どんな天候でもマッチ2本以内で確実に火
がおこせるよう日頃から腕を鍛えている。



キャンプ

キャンプの楽しみひとつは、班の仲間と作る食事。
ないんだ。でも不自由は全く感じない。水汲みも
スカウトは、苦しさや辛さを班の仲間との力で
それをぐっと加速させる。その精神が身について、
それがスカウティング

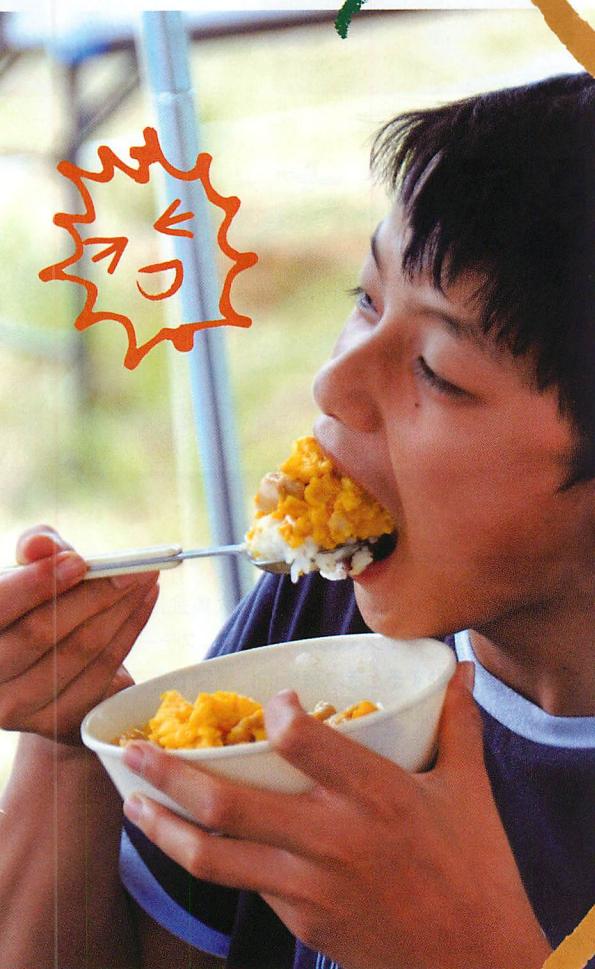
いただ



のごはん

だけど家とは違つて、ガスも水道も冷蔵庫も火おこしも料理も楽しいからね。
「楽しいゲーム」に変えてしまうし、他の班との競い合いが受験勉強や部活での辛さも楽しさにしていく。
のやり方なんだ。

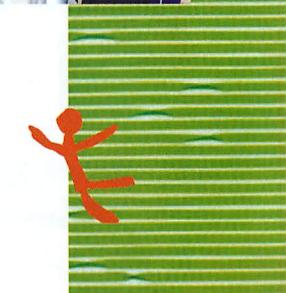
きま～す



おなかがすいたあ！

「食卓を囲むと笑顔があふれる」

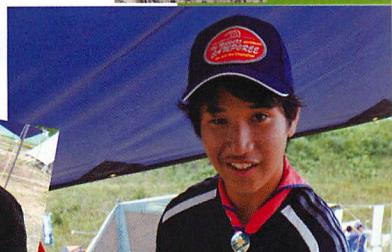
あちこちから「いただきま～す」の声が聞こえる。
その声はとてもうれしそう。食卓を囲むと、
つい笑顔がこぼれてしまう。



今日のシェフは私！

「独自のレシピで
とびっきりの料理を作るよ！」

材料はどの班も同じだけど、レシピは
みんな違う。この日のためにお母さん
の手伝いをして料理の腕を
磨いてきたんだ。





17th IBARAKI CAMPOREE



キャンポリー大集会



エキサイティング・ステージ

キャンポリー最大のアクティビティは「キャンポリー大集会」。毎回エネルギッシュなパフォーマンスであふれている。ステージに出演することは、地域社会で活動するときに積極的に活躍できるようみんなの前で表現し、また、精神を養うって意味もあるんだ。



弟・妹たちもやってきた!

キャンポリー大集会には、スカウト家族の弟・妹にあたるビーバーやカブや地元の子供たちもやってきた。ボーイのキャンプサイトを見学したり、大なわ飛びにチャレンジしたり、かき氷やヨーヨー釣りを楽しんで、ステージを見て大興奮。早くボーイスカウトになりたいとキラキラと瞳を輝かせていました。



カブ・ビーバー DAY



キャンポリー・ナイト



キャンポリー最後の夜、会場のメインストリートはお祭り会場となつた。趣向を凝らした各隊のプログラムやナイトステージで最後の夜を楽しんだ。初日は、知らないスカウトだったけれど、この時にはもう仲間になっている。それは、ボーイスカウトならではのことかもしれない。



ボーイスカウトの5つの部門

年齢ごとに部門がわかっているよ!



ビーバースカウト

小学生になつたら、元気なビーバー。

ビーバースカウトは、ボーイスカウトで最年少の小学1年生から2年生を対象としています(団により就学前の9月から参加できます)。

「みんなとなかよく遊ぶ」「自然に親しむ」「楽しみや喜びを分かちあう」の3つをねらいに置いて活動しています。



**Beaver
scout**



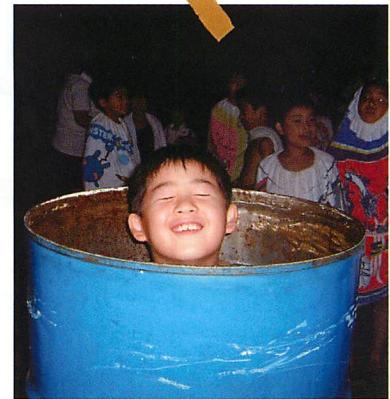
カブスカウト

カブスカウトになつたら
なんでも自分でできるよ。

カブスカウトは小学2年生9月から5年までを対象と
しています。

活動の目標は自分で考え、自分のことは自分ですること。
みんなでルールを作つて仲良く遊ぶこと。自然や
社会とふれあうこと。

こうして、自立心や協調性、創造力を養います。



慰問活動

Cub
scout



ボーイスカウト

技術を磨き、知識を学び、
自らを高める、ボーイスカウト

テントの張り方、地図の読み方、炊事や工作、自然観察などを楽しく学びます。これらを觀察し推理することで、より深く考え、自分自身を成長させていきます。また、自分のためだけでなく、奉仕の精神を持ち、人のために役に立つことの大切さを学びます。



Boy
scout



ベンチャースカウト

リーダーシップを発揮し、
メンバーとしての役割も果たす!

ベンチャースカウトの活動では、「いろいろな場面でリーダーシップを発揮し、またメンバーとしての役割も果たせる」人の育成を目指しています。

年代的にも高度な活動ができるようになりますので、仲間と協調して、具体的なプロジェクト活動を立案して実施し、その結果の評価までを一貫して行います。指導者は側面的な支援を行います。

また、ベンチャースカウト部門で取得する「富士スカウト章」は栄誉あるもので、毎年、この章を受けたスカウトたちの代表による東宮御所や首相官邸への表敬訪問が行われます。



Venture scout

ローバースカウト

実際に社会に対して役立てるよう、
自己研鑽を積み、自らを高める!

18歳以上のこの部門では、実際に社会に対して役立つ奉仕ができるよう自己研鑽を積みながら自らを高めていきます。阪神淡路大震災や重油流出事故の処理などで目覚しい活動の実績を持ちます。また、国際理解・協力に努め、アジア諸国との仲間とともに、バングラデシュやフィリピンでのボランティア活動を推進しています。



Rover scout



世界の160の国と地域が正式加盟、 2,800万人のスカウトが活躍しています。



ボーイスカウトはインターナショナル!!

世界のさまざまな国の人々と友だちになれるというのが、スカウト活動の魅力です。とにかく地球規模のワイドな活動です。

全世界でスカウトたちは活躍しています。現在、スイスのジュネーブに本部を置く世界スカウト機構には

160の国と地域が正式加盟、2800万人が活躍しています。

もし世界地図を持ってきてスカウト活動を行っている国に色を塗ると、

ほとんどすべての陸地が塗りつぶされてしまいます。

もちろん日本のスカウトにも世界中のスカウトと友だちになるチャンスがあります。4年に1度開かれる世界ジャンボリーなど、全世界からスカウトの代表が集まるキャンプ大会や、外国のスカウトを日本に招くこともあります。名実ともにインターナショナル

な活動です。2015年には日本で世界ジャンボリーが開催されます。

21世紀は国際化の時代といわれています。ボーイスカウト活動に参加し、

世界的視野で地球規模のプランを立ててみてはいかがでしょう。





Scout Q&A



Q スカウトになるには、どんな手続きが必要ですか？

A スカウトになるには2つの手続きが必要になります。

1つ目は、ボーイスカウト日本連盟に加盟すること。この事務手続きは、団を通じて行います。日本連盟に加盟するということは、その組織を構成する茨城県連盟、そして団に属すると同時に、世界中の2億8000万人のスカウトの仲間になります。

もうひとつは、「私はスカウトとして、将来他の人を支援できるようしっかりやつていきます」ということを、団の他のスカウトやリーダー、保護者、そして自分自身に対して自分の意志で「宣誓」することです。それを「ちかいをたてる」と言います。この2つを行ったときにはじめてスカウトとして認められ、仲間に入ることができます。

Q いつからスカウトになれるのですか？

A このスカウト運動は、幼稚園の年長の9月から25歳までの長期にわたって、年齢に応じた区分(部門)で行われています。その節目が、幼稚園年長の9月(ビーバースカウト隊入隊時)、小学校2年生9月(カブスカウト隊入隊時)、小学校5年生9月(ボーイスカウト隊入隊時)、中学3年9月(ベンチャースカウト隊入隊時)、高校卒業(ローバースカウト隊入隊時)です。募集は、団によって異なりますが概ね毎年6月から7月に定期的に行っています。

定期募集以外でも見学や入隊は随時行っていますので、いつでもスカウトになることができます。

Q ボーイスカウトではなぜユニフォーム(制服)を着るのですか？

A 一目でボーイスカウトとわかるユニフォーム、それを着るのは次の意味があるからです。

- ①スカウトであるというあかし。 ②世界中のスカウトが、同じ「ちかい」をたて「おきて」を守る兄弟として、仲間意識を体感するため。
- ③野外を主とした活動で、活発に活動できるようにするために。 ④ユニフォームを清潔に正しく着用すること、すなわち記章や標章を正しい位置につけ、身だしなみのよさや自尊心を養うこと。 ⑤社会のスカウト運動に対する信頼を高めるため。

このようにスカウトのユニフォームは、どこの国であっても世界スカウト記章をつけます。これは、「ちかい」をたてて、スカウト一人ひとりが世界のスカウト仲間に加わったこと、スカウトとしてお互いに「ちかい」と「おきて」を守って友情を深めることを示しています。そうですuniform、「uni」=ひとつの「form」=形・姿勢なのです。

自分が一員である地域社会、支えてくれている人々、自分の果たすべき役割、自分が常に努力して社会の役に立つ準備を着々と進めていること、積極的に建設的に役割を果たそうとするスカウトの精神がそこに表れています。

スカウトや指導者がスマートにユニフォームを着こなし、快活に活動する姿や秩序ある行動や動作をすることで、一般の人々からスカウト運動に信頼と好感が得られています。ですからスカウトは「友情」「自信」「信頼」の象徴となるユニフォームに大きな誇りを持ち、スマートに着用しています。

また、「ユニフォームを着ているときだけがスカウトではない」と言われるように、普段の生活でもユニフォームを着ているときと同じ気持ちが自然に身に付き、スカウトらしい行動をいつもとれるよう努めています。



Q ボーイスカウトはなぜ野外活動を中心とした活動なのですか？

A スカウティングは、何故学習の場を野外に求めているのでしょうか。

それは……

- ①自然への畏敬の念を感じ ②感謝の心の芽生えを促し
- ③「ちかい」「おきて」を実践する場 ④手・足・体で学ぶ体験学習の場

…として、スカウトの発達や成長にとって大きく総合的な効力を持っているからです。

大自然の神秘さや、厳しい自然現象に接することによって、自分の存在を客観的に、そして、ありのままに知ることができます。それが生きていく心の根源になります。

そして、スカウティングにおけるハイキングやキャンピングは、自然の中で活動することによる肉体的な発達、班の仲間との活動による協調性、責任感、リーダーシップなどの社会性の発達、野外生活技術の修得、科学的な知識や思考といった知的な発達、大自然の驚異に触れることによる精神的発達などを促していく、欠くことの出来ないプログラムとなっています。

スカウトたちは、成長期にあたり、「静よりも「動」、「閉」よりも「開放」を望んでおり、それがまた少年少女たちが成長していくためには必要なものなのです。

自然は、スカウトたちの憧れである未知の世界への、また、知らない場所への冒険です。そこには自然観察の機会もあり、新鮮な空気もあります。精神的にも肉体的にも、野外には大きな価値があります。このように、ボーイスカウトにおける野外活動は、それ自体が目的ではありません。これらの活動を通してスカウトたちのより豊かな成長を促すベースとなるものです。

これらハイキングやキャンプは、スカウトたちにとって大変魅力ある活動です。彼らのスカウティングへの参加の原動力は「活動が楽しく魅力的だから」です。楽しさや魅力は年齢とともに、また経験とともに変わっていきますが、スカウト活動にはあらゆる場面で楽しめる要素がたくさん用意されています。



編集後記

スカウト運動の原点、それは「スカウティングはゲームである」ということです。室内ゲームではありません。野外で一緒に苦労する、痛い目にあう、他人の痛みを見る、仲間と協力することの大切さを知る、これらを体感することがスカウティングなのです。そのためには指導者の意識を高めていくことが今、最も重要なっています。

ボーイスカウトについてのお問い合わせは、茨城県連盟事務局まで。

スカウティング茨城 Vol.33

発行：日本ボーイスカウト茨城県連盟

〒310-0034 茨城県水戸市緑町 1-1-18

茨城県青少年会館内

Tel.029-226-8482 Fax.029-224-3773

E-mail bsibarak@lilac.ocn.ne.jp

ibaraki@scout-ib.net